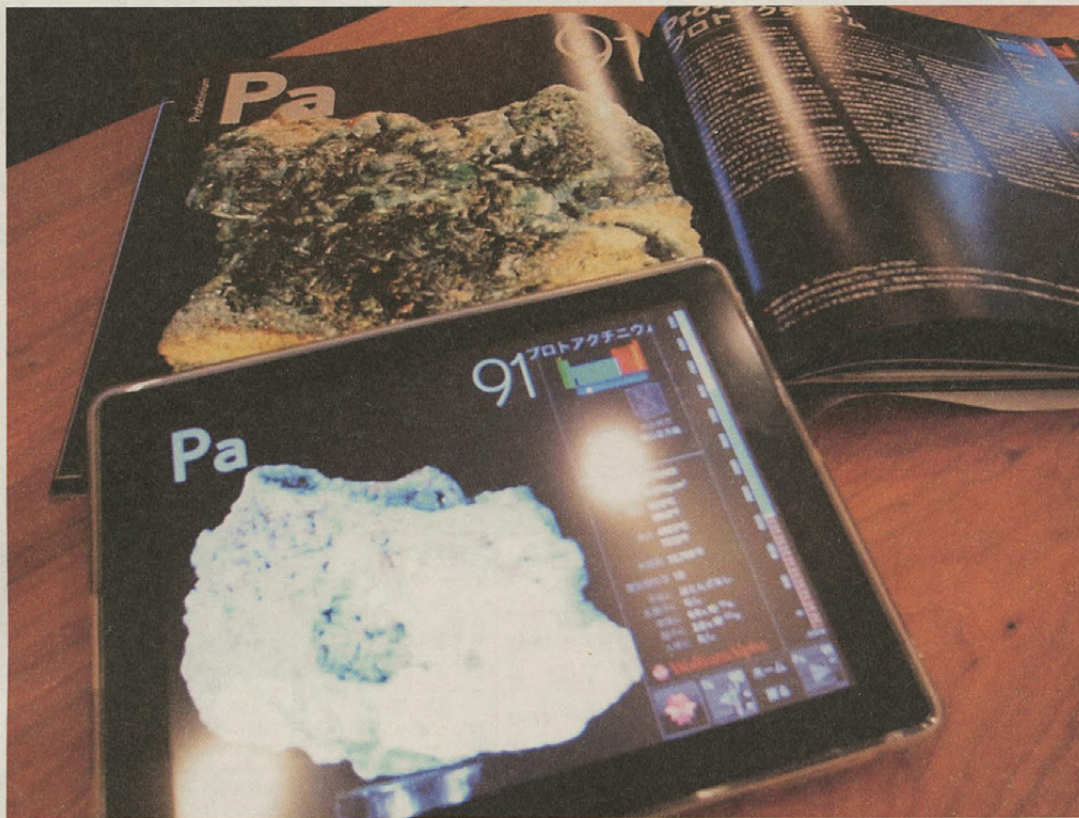


# 今月の本トピ。

取材・文/屋敷直子

## 「e読書ラボ」が本格始動 電子書籍の端末あれこれを実体験してみよう

「元素図鑑」を紙媒体と電子書籍で比べてみる



■■■■地下鉄神保町  
駅から徒歩3分。千代田区神田神保町  
1-7-7 「本と街の案内所」内 11時30分  
～18時、日・祝休。  
8頁の記事もご参照  
ください。→折り込み  
マップD-1



読める端末を動物で分類。アヒルは  
iPad Touch、鳥はiPad 2

神保町の「本と街の案内所」内に、9月

末から「e読書ラボ」がスタートした。

電子書籍の読書体験ができる実験的な試み

の「Apple iPad&Sony Reader、Amazon

Kindleなど、電子書籍が読める端末を展示。

出版されている電子書籍が入っていて、端

末に実際に触って読んでみる事ができる。

国立情報学研究所が、研究の一環として

始めたものなので、特定のものを薦めるこ

となく、あくまで中立な立場からそれぞれ

の端末の特長を説明してくれる。現状は、

端末をつくっている会社も、書籍データを

提供している出版社も、試行錯誤の状態。

流行っているようにみえても、じつは全体

を見渡して各端末を細かく検証する場合は、

ありそうでなかった。

ラボでは、端末で読める本の実物も置いて

いて、ラインナップがわかるのもうれし

い。吉田修一、よしもとはなな、京極夏彦

など売れ筋の小説や、実用書、図鑑、海外

文学と幅広い。とくに図鑑はデジタル化さ

れると持ち運びやすく、画像が動いたりし

て電子書籍ならではの利点がある。出版社

からの書籍データが、どの端末でも読める

わけではないというややこしい事情がある

が、それぞれの本に貼ってある動物スタン

プによって判別できるようになっている。

紙の本VS電子書籍という論調が多いが、

ライフスタイルや、その本を読む状況によ

って、使い分けられるものなのだろう。それは

端末選びにもいえることだ。迷ったら家電

量販店へ行く前に、e読書ラボへ。

Book topic of this month